

富士市総防災訓練

を実施します

昨年の熊本地震や、7月の九州北部豪雨など、各地で甚大な自然災害が発生しています。こうした災害は決して人ごとではありません！
9月1日(金)には、市内全域を対象に南海トラフ巨大地震が突然発生したことを想定し、防災訓練を行います。左記の取り組みポイントを参考に、皆さん一人一人が災害発生時の状況をイメージし、防災対策を進めるきっかけにしましょう！

タイムスケジュール

※防災訓練の同報無線は、災害時と同じ流れで放送します。



9月1日(金)

8時29分

緊急地震速報の同報無線放送

「訓練、地震です。訓練、地震です。強い揺れに警戒してください(繰り返し)」。



地震発生

地震発生時の同報無線放送

8時30分



取り組みポイント



□緊急地震速報が入手できる手段を確認する(テレビ・スマートフォン・富士市防災ラジオなど)

□実際に机の下など危険を避けられる場所で、頭や身を守る行動をとる

※ガスメーターは、強い揺れを感知すると自動的にガスの供給を遮断します。無理をしてガスコンロの火をとめに行く必要はありません。

震源が富士市に近い場合、緊急地震速報が間に合わないこともあります。次の取り組みを通して、地震に備えましょう。



用語説明

緊急地震速報^{※1}

地震発生直後に、各地の強い揺れの到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせるための情報です。

市では、震度5弱以上の緊急地震速報を受信した場合、同報無線(屋外スピーカーや富士市防災ラジオ)で自動的に放送します。



▲富士市防災ラジオ

津波避難対象区域^{※2}

鈴川本町、鈴川町3・4・5、依田橋、前田、前田新田、鮫島、田子、小須、中丸浜、中丸丘、江川の各町内会(区)の一部です。

通電火災^{※3}

災害に伴う停電が復旧するときに、漏電により起こる火災のこと。

市内では発災直後に89%が停電すると想定されています。通電火災を防ぐため、停電したらブレーカーを落としましょう。また、地震の揺れを感知し、自動的にブレーカーを落とす防災グッズもあります。

8時33分以降

8時33分

「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」

震度情報を同報無線放送

「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」

「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」



「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」



▲発電機の運行訓練

各自主防災会で防災訓練を実施

「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」

「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」

「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」

「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」

「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」

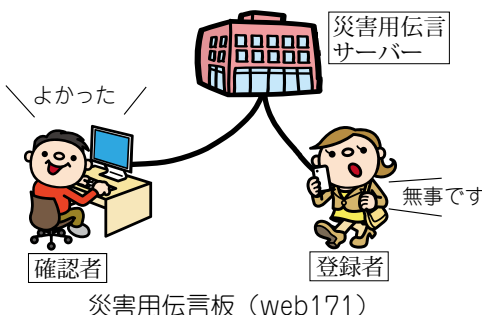
「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」

「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」

「訓練、地震発生（繰り返し）。（サイレン）」



▲初期消火活動の訓練



問い合わせ / 防災危機管理課
 ☎(55)2715
 FAX(51)2040
 ♫bousai@div.city.fuji.
 shizuoka.jp

よくある質問

Q 必ず市指定避難所に行くべきなの？
A 市指定避難所で被災生活を送らなければならないのは、自宅を失った人や、自宅が津波や土砂災害の危険区域内にある人です。日ごろから、「住みなれた自宅で生活を送るためにどうしたらよいか」という視点で備えることが必要です。

Q 富士市で想定される揺れは？
A 南海トラフ巨大地震が発生した際、最大で震度6弱～6強の立つことができない揺れが強弱を繰り返し、3～4分継続すると想定されています。静岡県東部地震（平成23年3月15日）の震度5弱をはるかに上回る揺れです。